



流防協だより

平成30年
1月
第50号

発行：一般社団法人
千葉県流通商防犯協力会
千葉市中央区中央3-4-8コーノビル7F
TEL.043-224-0893 FAX.043-224-2241

当法人は、各会員の相互扶助の精神に基づき、団結して防犯対策及び暴力団排除活動並びにパチンコ賞品の合法、適正な流通を推進することにより、会員の健全な経営活動を促進し、かつ、その地位の向上を期することを目的とする。

平成30年 年頭ご挨拶



一般社団法人千葉県流通商防犯協力会
理事長 **高橋 雄豪**



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族ともどもご健勝で輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶びを申し上げます。また、昨年中、当協力会に賜りました多大なるご支援ご協力に対しまして衷心より御礼を申し上げます。

さて、当協力会は、平成5年2月4日、千葉県内で営業を行っているパチンコ賞品卸業を営む55の商社が集まって設立されましたが、今年で25年、つまり四半世紀が経過したこととなります。この節目の年に当たり、次の四半世紀に向けてのスタート年となる今年、取り組むべき課題等につきまして会員皆様方にご理解をいただきたく、所信の一端を申し述べたいと思います。

昨年中の日本経済は、アメリカを中心とした先進国の経済の好景気と安定した国内の政権運営に後押しされ、2017年7月から9月期の実質GDPの成長率が7四半期連続のプラス成長となるなど、堅調な回復を続け、今後の先行きにもマイナスとなる材料が少なく、本年についても景気回復傾向が続くという見方が大勢を占め、大いに期待されるところであります。

しかしながら、我々遊技業界を見てみますと、日本経済の明るい動向に相反するように、先行きに不安を持たせる動向が認められたと強く印象が残る一年でありました。

一昨年(2016年)の12月15日に成立した特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律(いわゆる「カジノ法」)の付帯決議でパチンコを含めたギャンブル等依存症対策の強化が強く求められ、ギャンブル等依存症対策推進関係閣僚会議の「ギャンブル依存症対

策の強化に関する論点整理」を経て、昨年9月4日には、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び形式の検定等に関する規則の一部を改正する規則が公布、本年2月1日から施行されることになったのは皆様ご承知のとおりであります。

この改正で規制される出玉環境の変化等が遊技市場に与える影響には計り知れないものがあり、遊技人口の更なる減少、遊技場の閉鎖等悲観的な見方が多数を占め、これら規則改正への的確な対応が、我々賞品卸業を含め遊技業界全体における喫緊の課題となっているところであります。

パチンコが大衆娯楽の中心にあり続けるためには、これまで以上に、風営法の下で、国民から支持されるような娯楽性と健全性を維持しなければならず、一時中断している新賞品流通システムの再開も、この課題に的確に対応するためのツールであり、新システムの早期再開に向けて、一層努力する必要があるものと考えております。

今年(2018年)は戌年ですが、犬を用いた熟語に「見兎放犬」(けんとうほうけん)というものがあります。これは、狩りをするとき兎を見つけてから犬を放っても間に合う。転じて、失敗してから改めても決して遅すぎないというもので、まさしく、新システムについても同様ではないかと考えております。

次に、当協力会についてであります。冒頭で述べましたとおり、本年は、当協力会設立25年の節目の年となります。

設立以降一環として取り組んでまいりました「防犯対策」、「暴力団排除活動」及び「社会貢献による地位向上」の三本柱については、先輩たちの努力の積み重ねにより、確実にその成果を上げてきたところであり、本年以降についても、設立の初心に戻って各種施策を推し進めなければならないと考えております。まず、防犯対策についてであります。昨年は、年間を通して首都圏の広範囲において、窃盗グループによる賞品(景品)買取所に対する窃盗事件が多発し、千葉県内だけでも21件の被害を確認しております。夜間、無人となる買取所の防犯対策については、これまで以上に積極的かつ継続的に行っていく必要があると考えております。

次に、暴力団排除活動についてであります。昨年11月、都内で開催されました全国暴力追放運動中央大会において、当協力が暴力追放功労団体として感謝状を受賞しました。これは、長年にわたる暴力団追放活動に対する功労が認められたものであり、受賞団体は全国でも4団体しかないという大変名誉ある受賞でありました。

昨年一年間において、当協力会会員に対する暴力団の関与は認められませんでした。暴力団の再関与防止は常に意識しておかなければならないものであり、この受賞を励みとして、更にコンプライアンスを高めて、暴力団排除という社会正義の実現を通じて社会的責任を果たしていきたいと考えております。

次に、社会貢献による地位向上についてであります。

当協力が行っている自治体、社会福祉団体等に対する支援等の社会貢献に対しては、多方面から感謝が寄せられるなど、着実に社会的地位は向上しているものと認識しております。会員皆様のより一層のご理解とご協力を賜り、本年も、引き続き地域防犯活動、福祉活動等への貢献を通じて地位向上に努めてまいりたいと考えております。

最後となりましたが、本年は、当業界にとりまして激動の年で、変革を強く求められる年となることは必至であります。当協力会会員が一致団結した上で、積極的な施策を展開してこの難局を乗り越え、更なる発展に結びつけますことができるよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

防犯研修会の開催

昨年11月22日、千葉市ビジネス支援センター(きぼーる)において、千葉県警察本部の犯罪抑止を担当する生活安全総務課栗飯原昌尚理事官、窃盗犯捜査を担当する捜査第三課林寿彦理事官を招き、防犯研修会を開催いたしました。

研修会では、昨年多発したパチンコ賞品買取所を対象とした窃盗事件に関して発生状況や犯行手口を踏まえた具体的な犯罪防止対策に言及した講話を受けたほか、日頃から会員が疑問に思っている防犯対策に関する質疑コーナーや、防犯機材(マーキングガン)の取扱要領に関するコーナーも設けるなど、今後の防犯対策上、有効な研修会となりました。



各種表彰の受賞

暴力追放功労団体として全国表彰

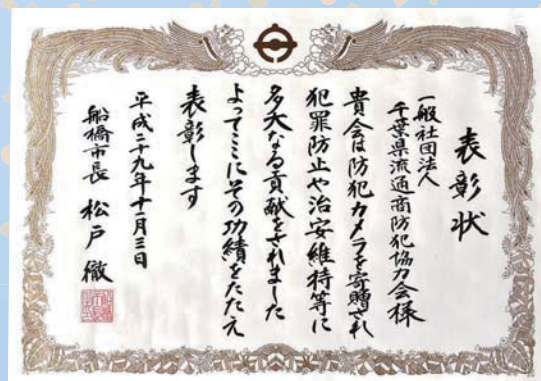
昨年11月28日、東京都港区の明治記念館において開催された平成29年全国暴力追放運動中央大会の席上、暴力追放功労団体として警察庁長官並びに全国暴力追放運動推進センター長連名による感謝状を受賞しました。



記念撮影の堀田副理事長

市政功労団体として船橋市から表彰

昨年11月3日、船橋市民文化ホールにおいて開催された船橋市市政80周年記念式典の席上、防犯カメラ寄贈による犯罪防止等に寄与した功績が評価され、平成29年度の市政功労団体として表彰されました。



その他の表彰

昨年11月14日、千葉県文化会館において開催された第67回千葉県社会福祉大会の席上、社会福祉事業貢献団体として、感謝状を受賞しました。

本受賞は、平成20年以降9年連続となります。

平成29年中の社会貢献活動

平成29年中、当協力会においては、次の団体が推進している社会福祉活動、慈善事業等の事業に対して支援を行ってきました。

- ★ 公益社団法人 千葉県防犯協会
- ★ 公益財団法人 千葉県暴力団追放県民会議
- ★ 公益財団法人 千葉日報福祉事業団
- ★ 公益財団法人 千葉県警察育英会
- ★ 更生保護法人 千葉県婦性会
- ★ 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
- ★ 社会福祉法人 千葉いのちの電話
- ★ 千葉県少年警察ボランティア協議会

親睦ゴルフコンペの開催

昨年10月20日、東金市内の東千葉カントリークラブにおいて親睦ゴルフコンペを開催しました。あいにくの空模様ではありましたが、来賓の方々や会員の皆様との親睦が深められました。



※ 成績結果

優勝 三井商会 三井理事
第3位 県遊協 中村副委員長

第2位 県遊協 長谷部財務委員長
ベストグロ賞 県遊協 金田副委員長

暴力団追放「三ない運動」+ワン

暴力団を ●利用しない ●恐れぬ ●金を出さない
暴力団と ●交際しない

※ 暴力団介入事案は、初期段階から機を失せず、事務局に連絡を!!
警察及び関係機関等の指導協力を得ながら組織で対応します。